

平成5年度第2回医学用原子分子・原子核データWG会合議事録（案）

1. 日時： 平成6年3月14日（月） 13:30 - 17:00
2. 場所： 明宏ビル3階会議室
3. 出席者： 平岡武，岩波茂，上原周三，尾川浩一，喜多尾憲助，古林徹，
白貝彰宏，高田信久，高橋旦，原田康雄，山口恭弘
（欠席者： 伊藤彬，兵藤一行）

4. 配布資料（資料提供者）

- 4.1 平成5年度第1回会合議事録（案）
- 4.2 重イオンの阻止能について（高橋）
- 4.3 核医学における核データ（尾川）

5. 議題

5.1 重イオンの阻止能について（高橋）

Benton, Ziegler, Kanai, などによる理論式を中心に、補正項の違い、計算結果の比較などについて説明があった。Northcliffeの式は他と一致しないこと、カットオフエネルギーによって、REL値が大きく異なることなどが指摘された。

reduced energy loss

5.2 核医学における核データ（尾川）

資料(4.3)は、前回の委員会の資料(4.2)に加筆したもので、診断や治療に使用されるRIの核種、使用数量、件数などの変化について説明があった。

本件を出版する場合、タイトルを検討すること、線源のコンタミに関するデータが在れば載せた方が良い、との提案があった。

5.3 その他

1. 核データ委員会において、医学関係からの核データのニーズが少ないとの指摘があった。（岩波）
2. 資料(4.3)は、他に資料が2編ほどまとまった段階で、M-レポートとして出版する。他の資料としては、高橋委員による資料(4.2)と上原委員による平成4年度第1回委員会の資料(4.2)（電子の飛跡構造計算コード比較表）を候補とする。
3. 表や図を引用してM-レポートに出版する時の、著作権の問題が議論された。
4. 平成6年度も旅費が少ないため、遠方からの委員は、委員としての出席回数を減らし、オブザーバーとして出席していただくよう、運営委員会から要請があった。（平岡）
5. 次回の議題は岩波委員にお願いすることになった。